

Vol.17 No.1 '94

1994年11月30日 発行 目次

第25回日本消化吸収学会総会を終えて	5
新潟大学医学部 第三内科 朝倉 均	
〈特別講演〉	
薬剤の吸収動態と薬効	6
東京女子医科大学第二病院 内科 森 治樹 他	
〈招聘講演〉	
THE ROLE OF GLUTAMINE AND GROWTH HORMONE IN INTESTINAL ADAPTATION	18
Frank Sayer Professor of Surgery, Harvard Medical School Douglas W. Wilmore, M.D.	
糞便中各種蛋白からみた炎症性腸疾患の病態	22
大阪医科大学 第2内科 齊藤 治 他	
クローン病における消化吸収障害と蛋白漏出	26
東北大学 第3内科 長瀬慶一郎 他	
クローン病症例の吸収機能の検討	27
兵庫医科大学 第4内科 福田能啓 他	
脂肪消化吸収障害と経腸栄養剤の選択— steatocritによる障害の評価—	32
滋賀医科大学 第2内科 名生諭史 他	
Crohn病における胆汁酸吸収能と臨床像の関連性	36
旭川医科大学 第3内科 垂石正樹 他	
炎症性小腸疾患における胆汁酸吸収障害— 特にクローン病における胆汁酸負荷試験意義—	40
筑波大学 臨床医学系 消化器内科 松崎靖司 他	
潰瘍性大腸炎の大腸全摘術後の胆汁酸と電解質吸収能の変化	44
横浜国立大学 第2外科 原田博文 他	
潰瘍性大腸炎モデルおよび炎症性腸疾患の臨床例に対するオリゴ糖治療の試み	48
和歌山県立医科大学 消化器外科 梅本善哉 他	
ラット小腸Na ⁺ -依存性グルコース輸送担体(SGLT1)遺伝子の発現調節	54
大阪府立看護大学医療技術短期大学部 臨床栄養学科 南 久則 他	
シチスン尿症の原因遺伝子クローニングと機能解析	58
徳島大学 病態栄養 宮本賢一 他	
モルモット大腸H, K-ATPase の分子生物学と生理機能	63
静岡県立大学食品栄養科学部 生理 鈴木裕一 他	
小腸絨毛細胞の成熟化に伴うラクターゼならびにスクラーゼの遺伝子発現	66
静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生理 合田敏尚 他	

トリプシノーゲン活性化酸素エンテロペプチターゼの精製、構造、諸性質について	70
東京大学 第1内科 松嶋成志 他	
中心静脈栄養施行時の小腸粘膜内CCK、secretinの遺伝子発現と小腸粘膜像	77
東京都老人総合研究所 臨床生理 宮坂京子 他	
膵リパーゼとコリパーゼ、胆汁酸塩、Na ⁺ およびCa ²⁺ の相互作用	81
天野製薬 中央研究所 仲 恭寛 他	
MCTおよびLCT負荷時における小腸粘膜アポA-IV、B合成に与える影響について	85
岐阜大学 臨床検査医学 清島 満 他	
Zucker肥満ラットにおける小腸での脂質吸収の特性	89
佐賀医科大学 消化器内科 藤本一真 他	
リンパ球のPeyer板血管内皮への接着と長鎖脂肪酸吸収の影響	92
東京都立大塚病院 内科 今枝博之 他	
ラット小腸切除モデルによる加齢と小腸粘膜の増殖について	96
滋賀医科大学 第2内科 坂本健一郎 他	
経腸栄養による小腸運動の変化	101
旭川医科大学 第3内科 野村昌史 他	

あとがき

本年は例年よりやや暖かい冬を迎えようとしておりますが、ここに消化と吸収17 巻1 号をお届け致します。

本号は第25回日本消化吸収学会(会長:新潟大学第3内科 朝倉 均教授)における講演のうち、特別講演、シンポジウム(8 題)、ワークショップ(12題)を掲載しております。

特別講演においては東京女子医科大学の森 治樹教授のこれまで研究されてまいりました講演論文であり、我々にとっても薬剤の薬効はある程度知っていても、吸収動態との関連を知る機会は少なく、非常に益するところの大きいものと思っております。

シンポジウムに関しては、消化吸収の分野においても、最近特に興味のある炎症性腸疾患治療における消化吸収の最新の内容となっており、今後の炎症性腸疾患治療においても大いに役立つ内容となっている。

またワークショップにおいては、消化吸収の分野においても分子生物学的研究がなされるようになり、その最先端の研究の詳細がここに掲載されており、このように本号は多くの興味ある充実した内容となっており、特に本欄のいちばん目立つ所においてほしいと思っております。

(A・I)